

2010年3月期 決算説明会

蛇の目マシン工業株式会社

2010年5月18日

－注意事項－

本資料で記述されている業績予想ならびに将来予測は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。そのため、今後、市況や為替レートの変動などを含む様々な要因により、実際の業績は記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。

1. 2010年3月期 業績概要
(収益改善計画 進捗と効果)
2. 2011年3月期 計画

1. 2010年3月期 業績概要 (収益改善計画 進捗と効果)

2. 2011年3月期 計画

業績概要

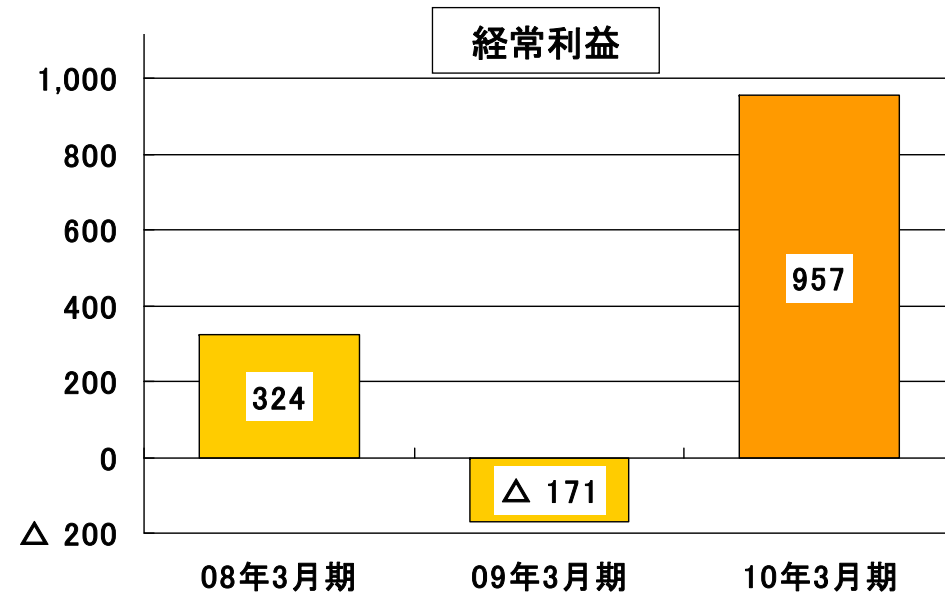
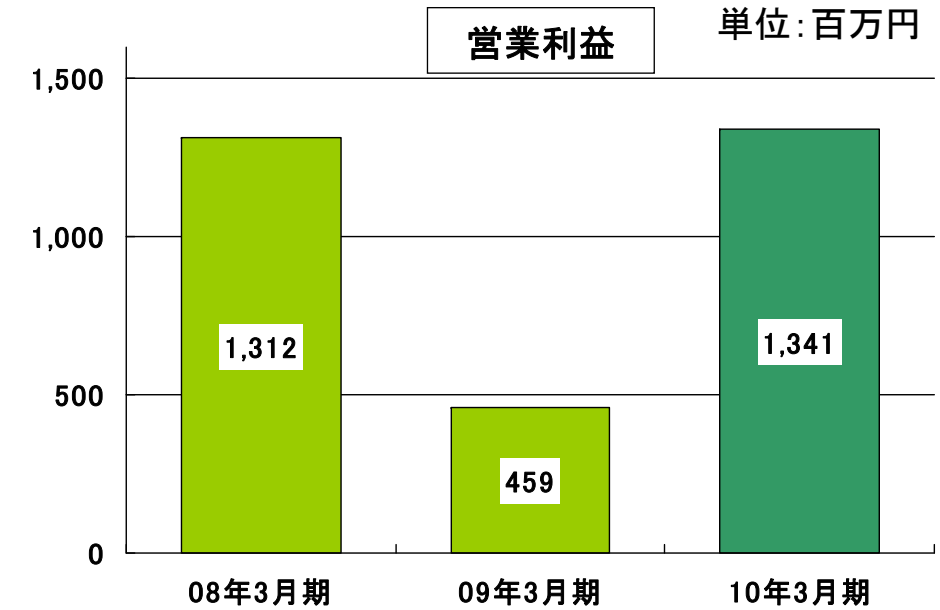
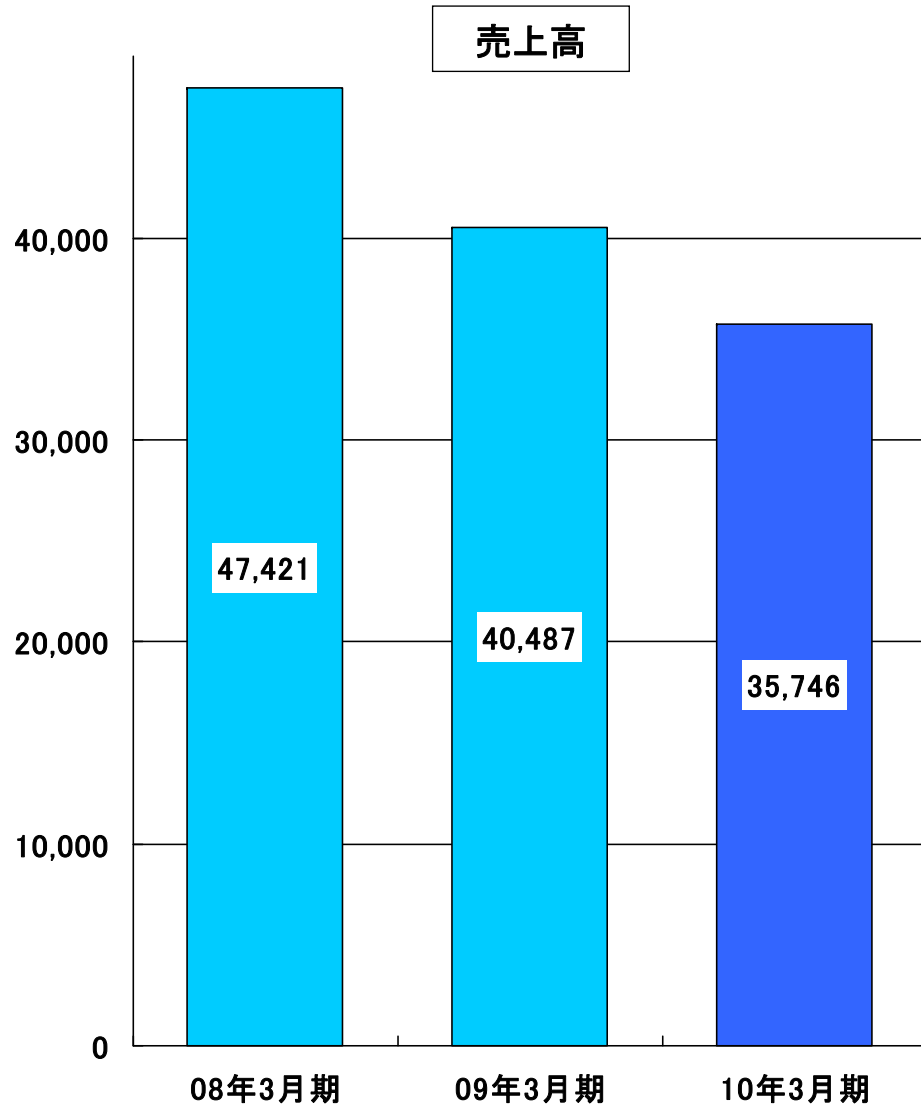


単位:百万円

	2008年3月期	2009年3月期	2010年3月期	増減 (前期比)
売上高	47,421	40,487	35,746	-4,741
営業利益	1,312	459	1,341	882
〔営業利益率〕	2.8%	1.1%	3.8%	2.6P上昇
経常利益	324	△171	957	1,129
〔経常利益率〕	0.7%	—	2.7%	—
当期純利益	△1,207	△5,083	529	5,613
為替レート(円/US\$)	114.28	100.54	92.84	-7.70

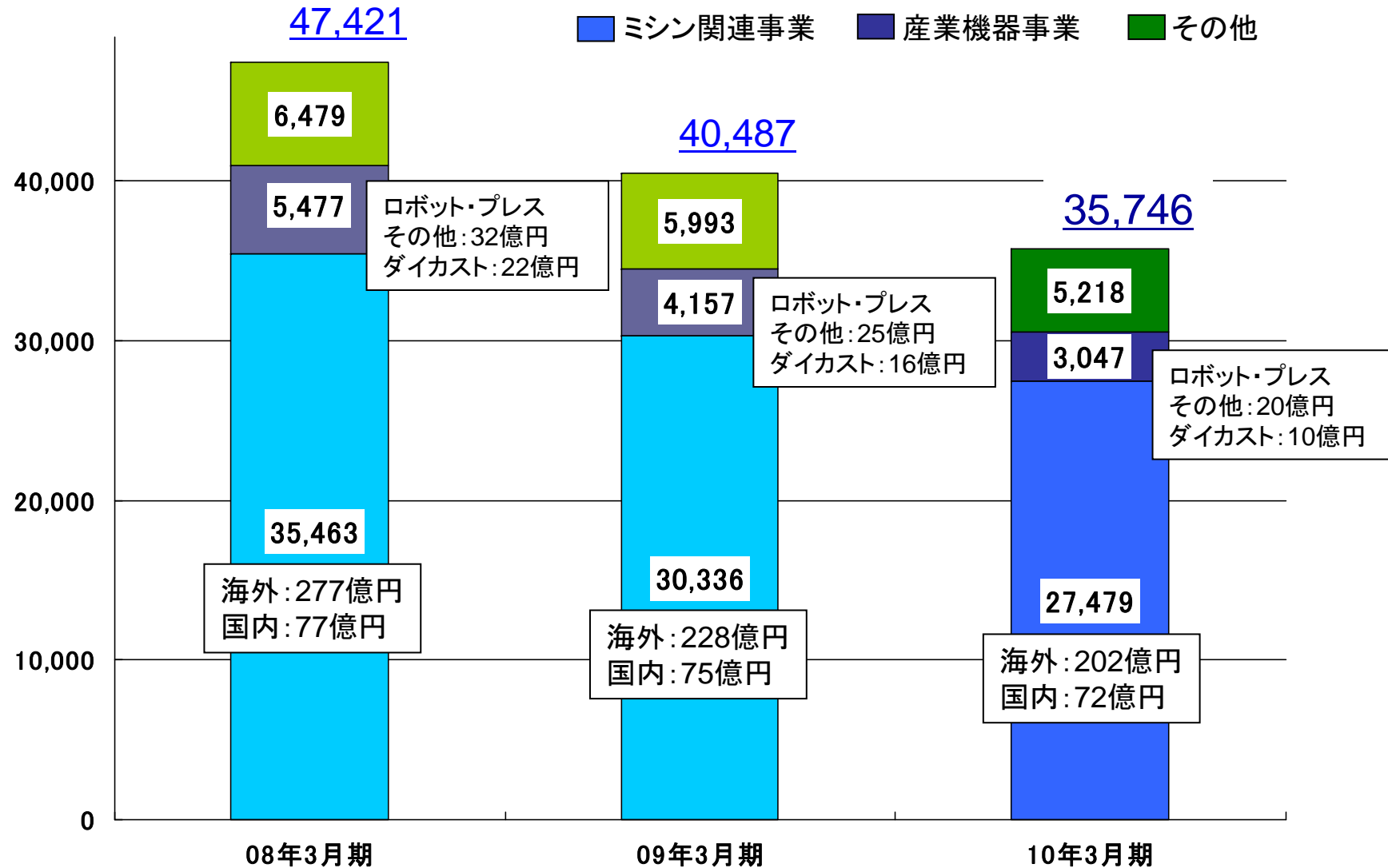
- 売上高は減少したものの、「収益改善計画」の実行効果により、損益分岐点が低下し、収益は大幅改善
- 最終利益は3期振りの黒字転換
(前期は約36億円の繰延税金資産取崩しにより大幅赤字計上)

業績推移



事業セグメント別売上高推移

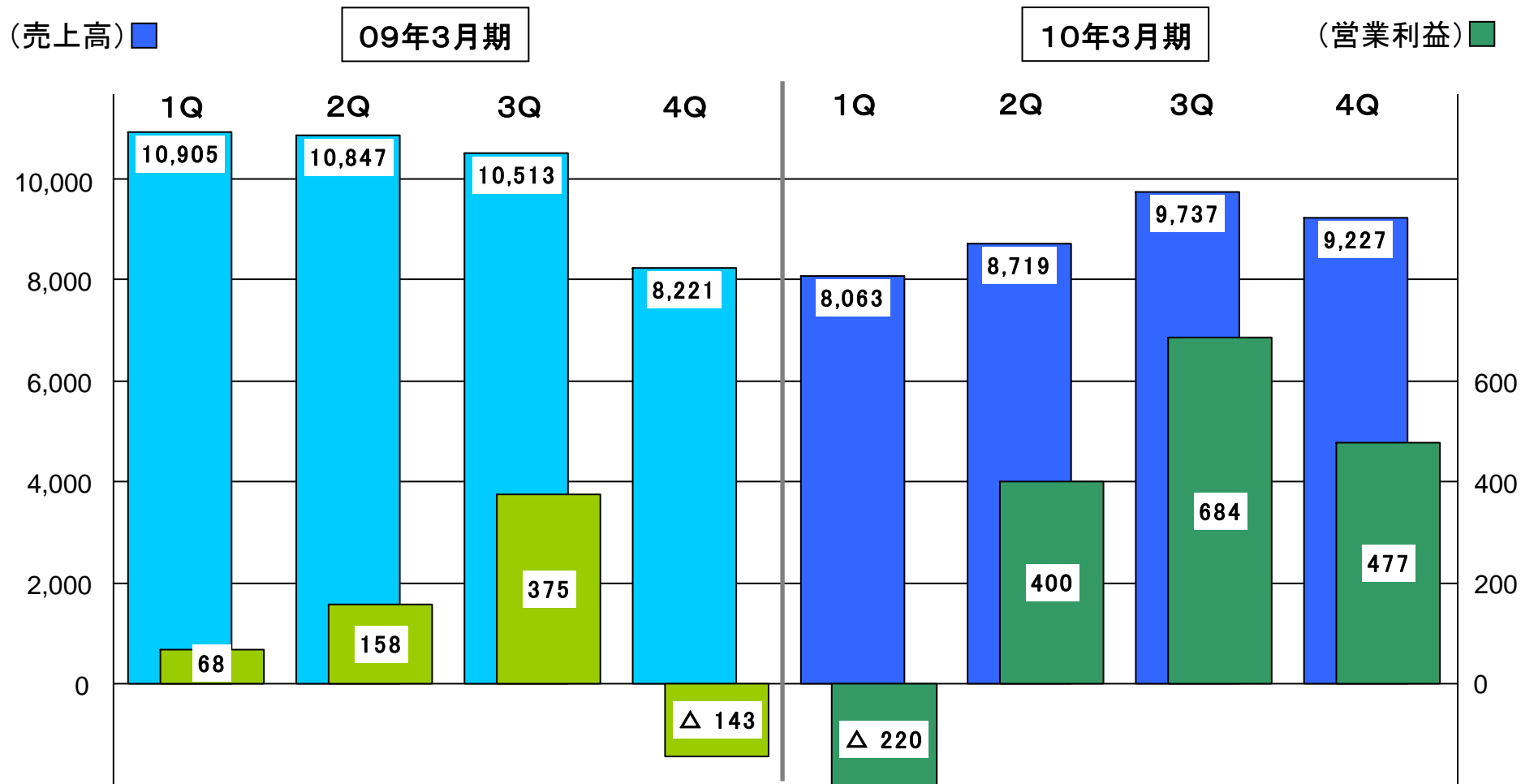
単位：百万円



四半期業績推移



単位：百万円



➤ 第1四半期を底に、第2四半期以降回復基調へ転換

収益改善計画の進捗、効果

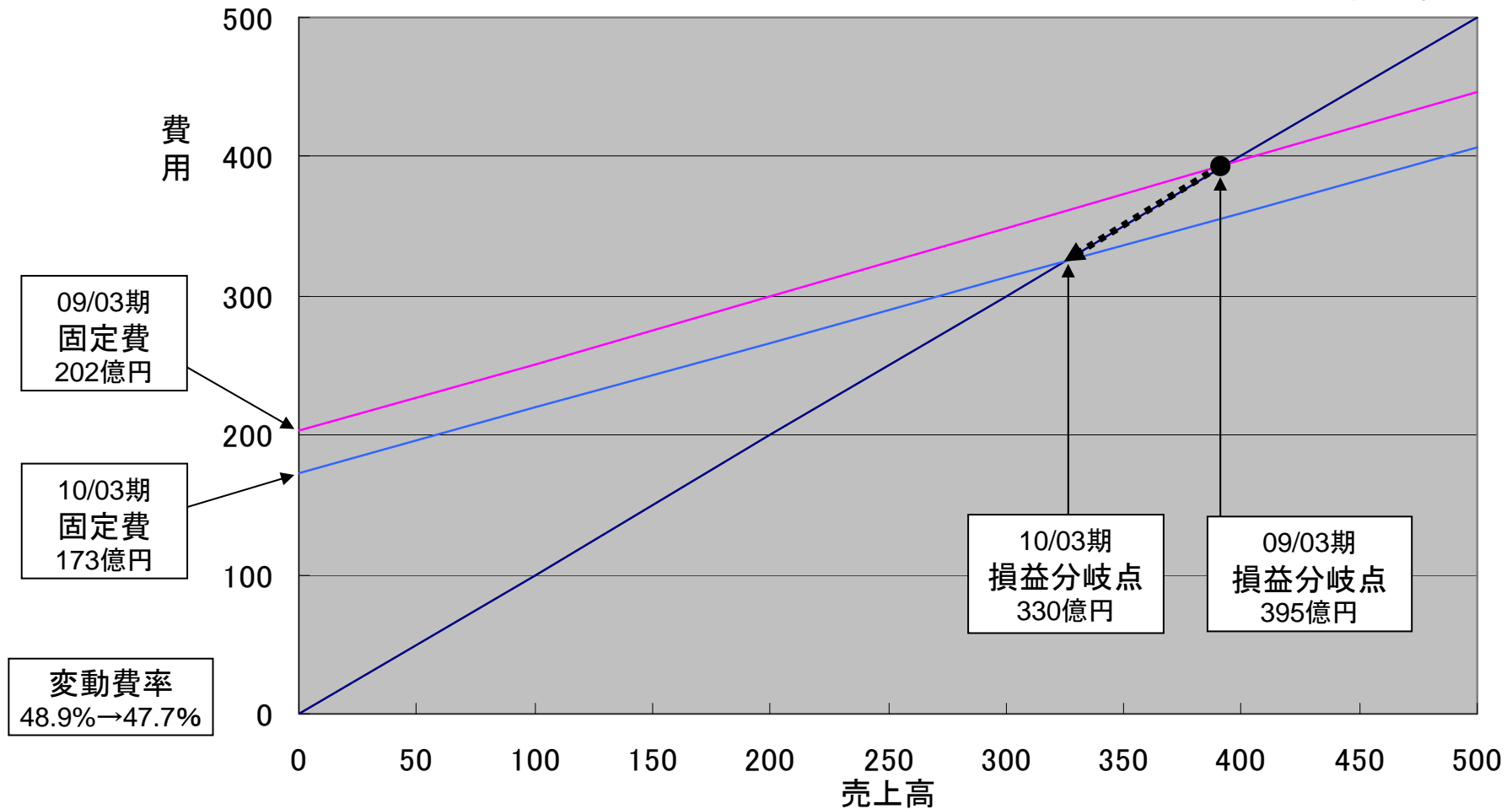
※計画、実績値は前期比削減効果

単位：億円

<テーマ>	<計画>	<実績>	<差異>
原材料費・製造経費の低減	5.1	4.6	-0.5
労務費の低減	4.3	4.8	+0.5
関連子会社等の統廃合	5.5	5.3	-0.2
その他経費の削減	4.2	2.0	-2.2
人件費の削減	11.4	12.3	+0.9
合 計	30.5	29.0	-1.5

損益分岐点売上高の低下

単位：億円

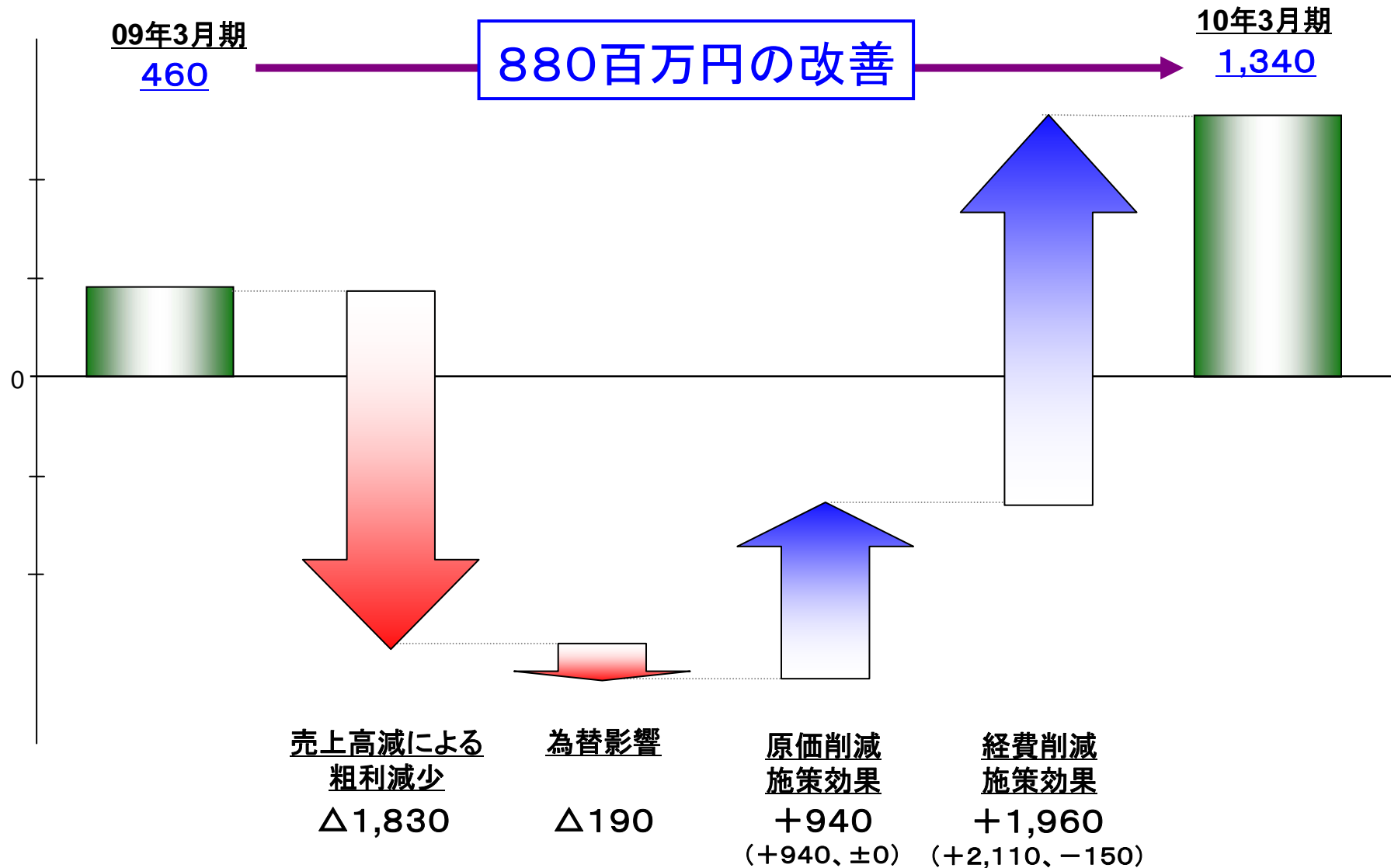


➤ 固定費29億円削減、変動費率1.2ポイント低下、損益分岐点約65億円低下

営業利益の増減要因

単位：百万円

※カッコ内は収益改善計画数値、及び計画との差異



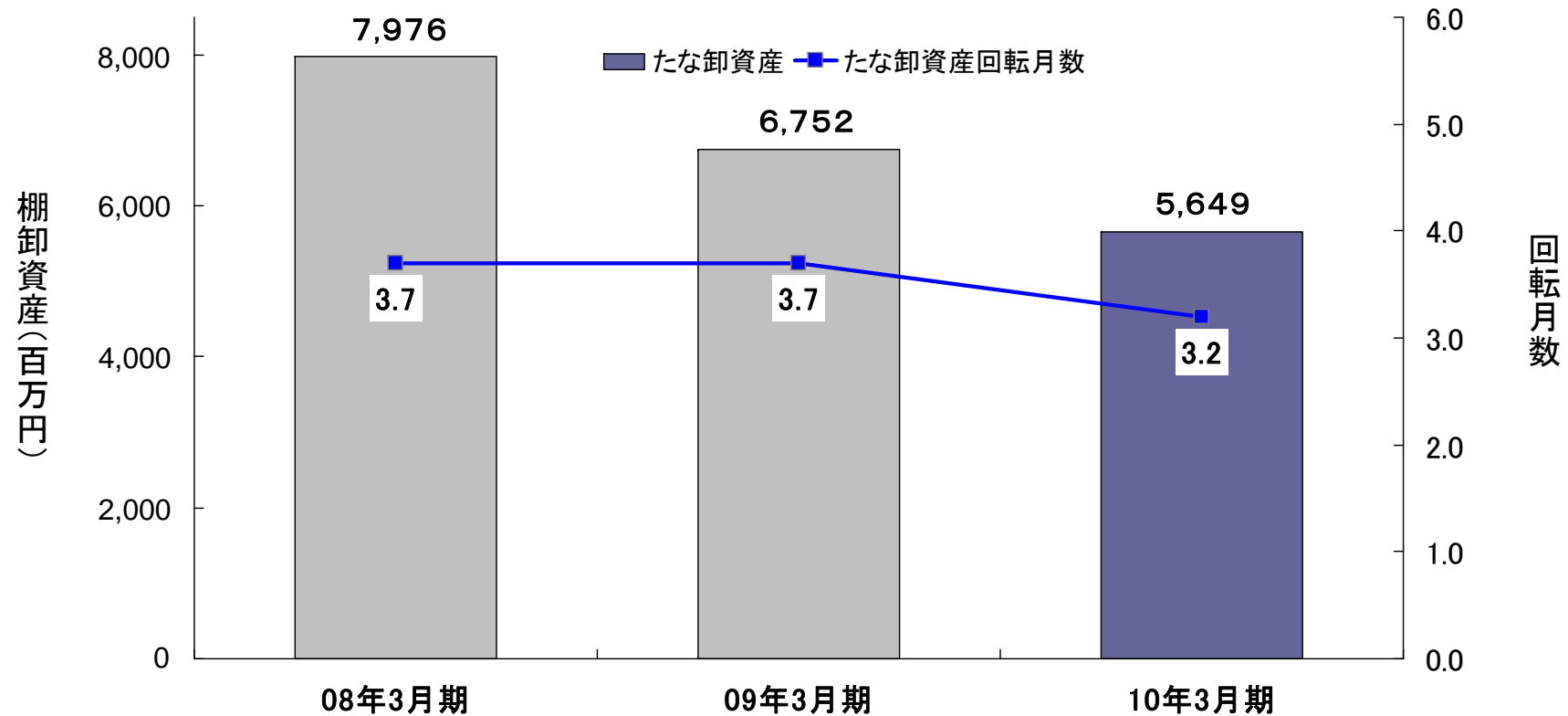
貸借対照表の状況

単位：百万円

		09年3月期末	10年3月期末	増減	
資産	流動資産	19,114	20,162	1,048	
	固定資産	31,883	30,350	-1,533	
	資産合計	<u>50,997</u>	<u>50,512</u>	<u>- 484</u>	
負債・純資産	負債	流動負債	18,635	20,966	2,330
		固定負債	19,620	15,897	- 3,723
		負債合計	38,256	36,863	- 1,392
	純資産	資本金	11,372	11,372	-
		利益剰余金・自己株式	△ 2,169	△ 3,261	- 1,091
		その他	3,537	5,537	2,000
		純資産合計	12,740	13,649	908
負債・純資産合計		<u>50,997</u>	<u>50,512</u>	<u>- 484</u>	

➤ 不動産売却(麻布ビル)による税法上の含み損の具現化を利益剰余金に計上

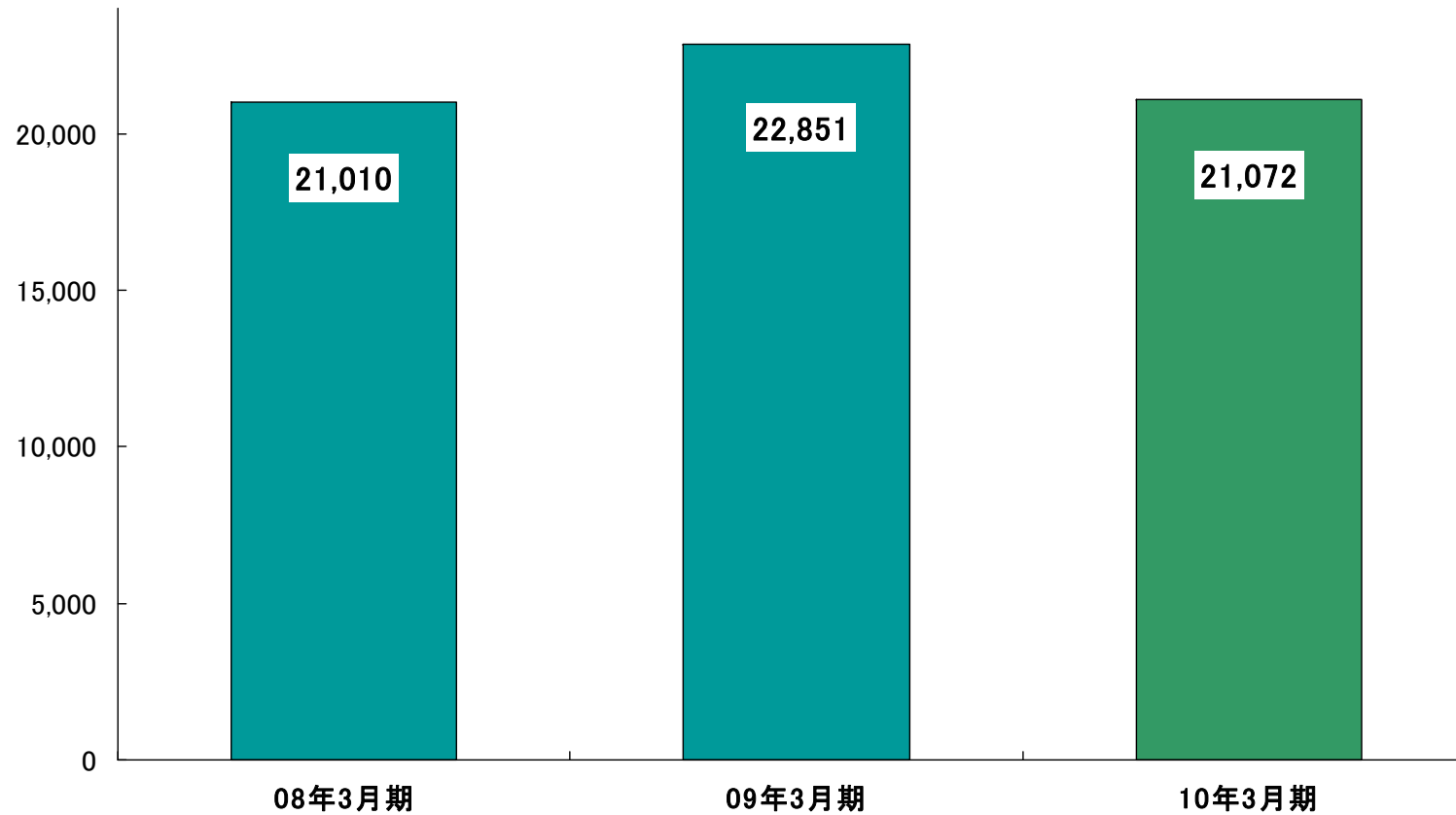
たな卸資産とたな卸資産回転月数推移



▶ 製品・部品のたな卸資産の圧縮により、
 たな卸資産回転月数(たな卸資産÷月平均売上原価)が3.2ヵ月に短縮

有利子負債残高推移

単位：百万円



➤有利子負債の期末残高が前期比1,779百万円減少

キャッシュ・フロー計算書

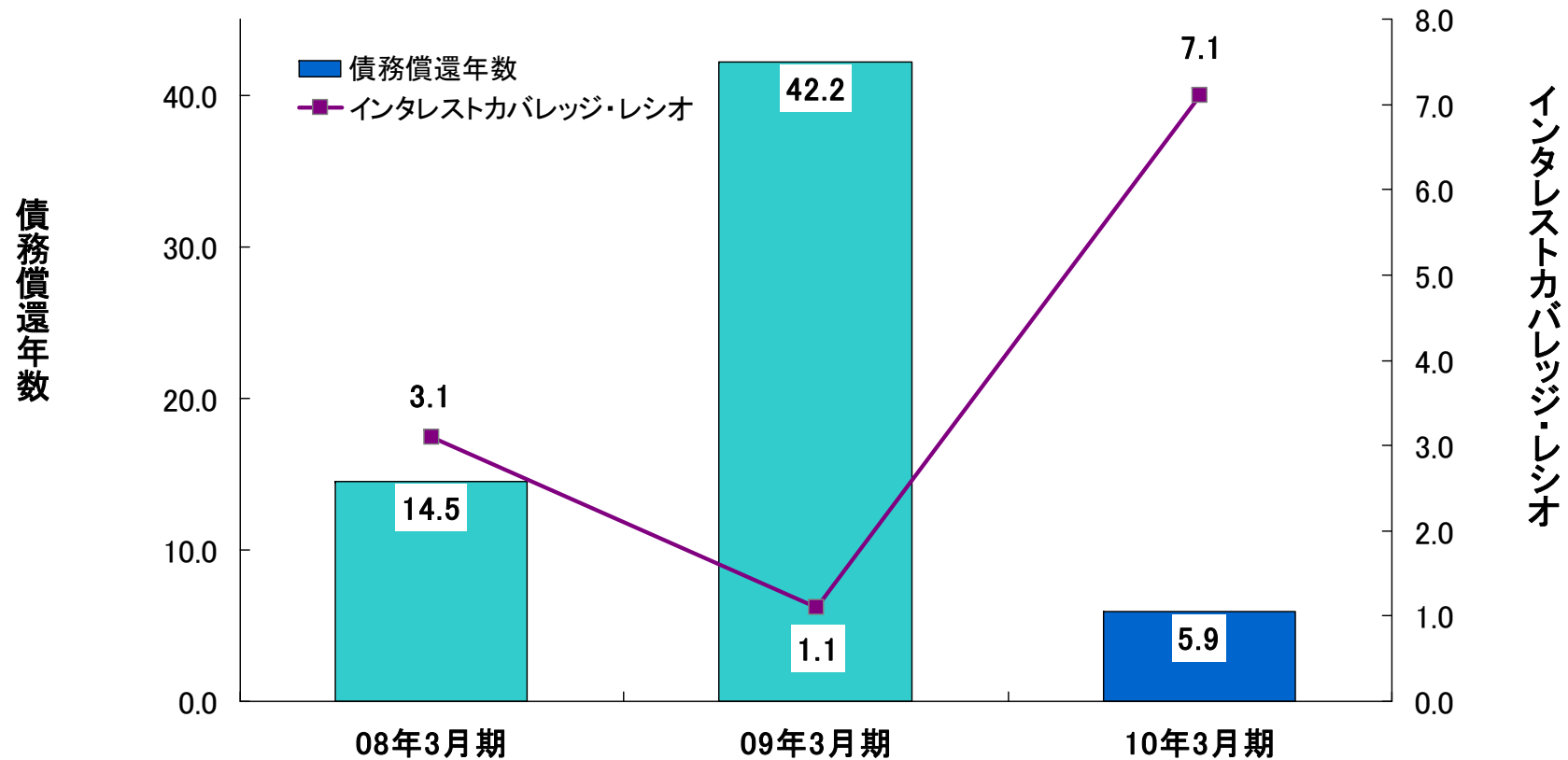


単位：百万円

	09年3月期	10年3月期	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	543	3,543	2,999
税金等調整前純利益	△1,091	1,047	2,139
減価償却費	1,115	982	-133
売上債権の増減	669	△112	-781
たな卸資産の増減	306	1,223	917
その他	△458	401	859
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,061	153	2,215
有形固定資産の取得	△2,541	△848	1,692
その他	480	1,000	521
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,208	△1,692	-3,901
有利子負債の増減	2,231	△1,674	-3,905
その他	△22	△18	4
現金及び現金同等物の期末残高	4,866	6,869	2,002

- ▶ 営業活動によるキャッシュ・フローは最終利益の黒字転換、たな卸資産の減少等により3,543百万円のプラス
- ▶ 投資活動によるキャッシュ・フローは麻布ビルの売却等により153百万円のプラス
- ▶ 財務活動によるキャッシュ・フローは借入金返済等により1,692百万円のマイナス

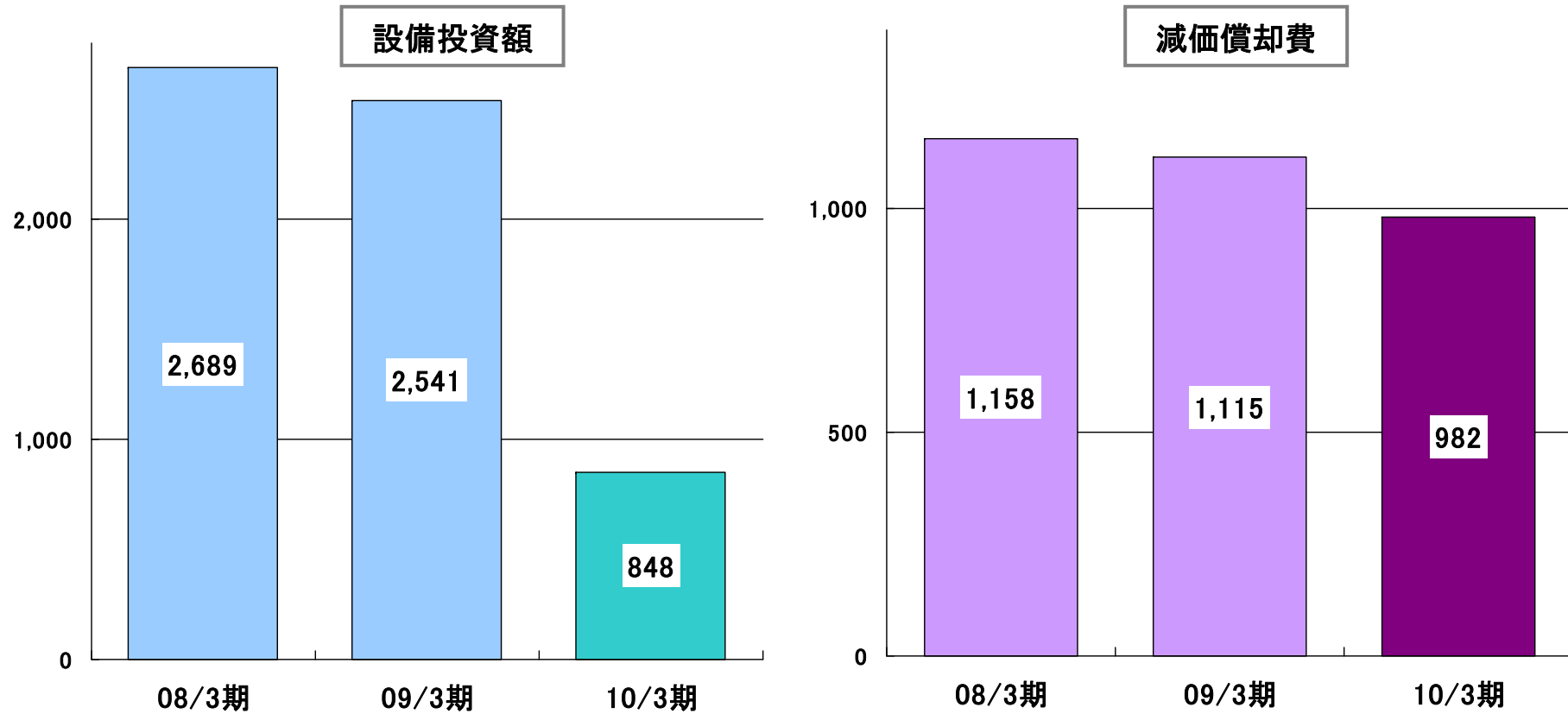
債務償還年数とインタレストカバレッジ・レシオ推移



▶有利子負債の減少と営業キャッシュフローの増加により、
 債務償還年数(有利子負債期末残高÷営業活動キャッシュフロー)が5.9年、
 インタレストカバレッジ・レシオ(営業活動キャッシュフロー÷利払い)7.1にV字回復

設備投資額・減価償却費の推移

単位：百万円



- 設備投資は八王子再開発等の一巡により減少
- 主要な設備投資は金型、生産設備更新等

1. 2010年3月期 業績概要
(収益改善計画 進捗と効果)

2. 2011年3月期 計画

業績計画

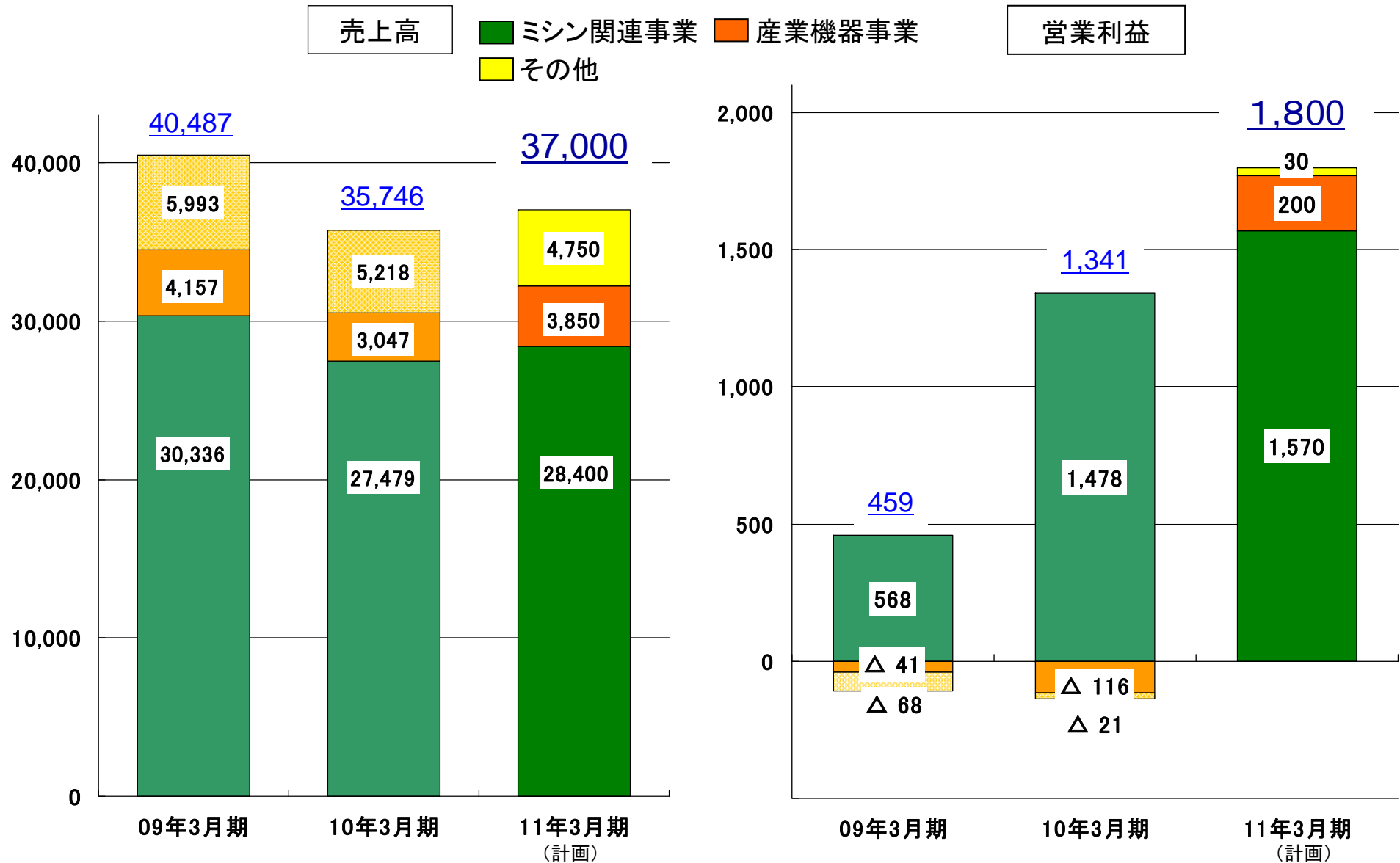
単位:百万円

	10年3月期 実績	11年3月期 計画	増減
売上高	35,746	37,000	1,254
営業利益	1,341	1,800	459
営業利益率	3.8%	4.9%	1.1P上昇
経常利益	957	1,200	243
経常利益率	2.7%	3.3%	0.6P上昇
純利益	529	800	271
為替レート(円/US\$)	92.84	90.00	-2.84

➤ 収益改善計画の遂行により築き上げた収益構造の維持・強化を図りながら増収・増益を目指す

事業セグメント別業績3カ年推移

単位: 百万円



家庭用ミシンメーカーのトップグループとしての地位強化

(海外)

各市場におけるシェア30%以上獲得を目指す。

特に家庭用ミシンの最大の市場である北米(市場規模:推定1,700,000台/年)において、ミシン専門店を中心に(市場規模:推定500,000台/年)シェア拡大(目標30%以上)。

既存市場での販売の維持・拡大に加え、中南米・アジアといった新興国市場での販売強化。

(国内)

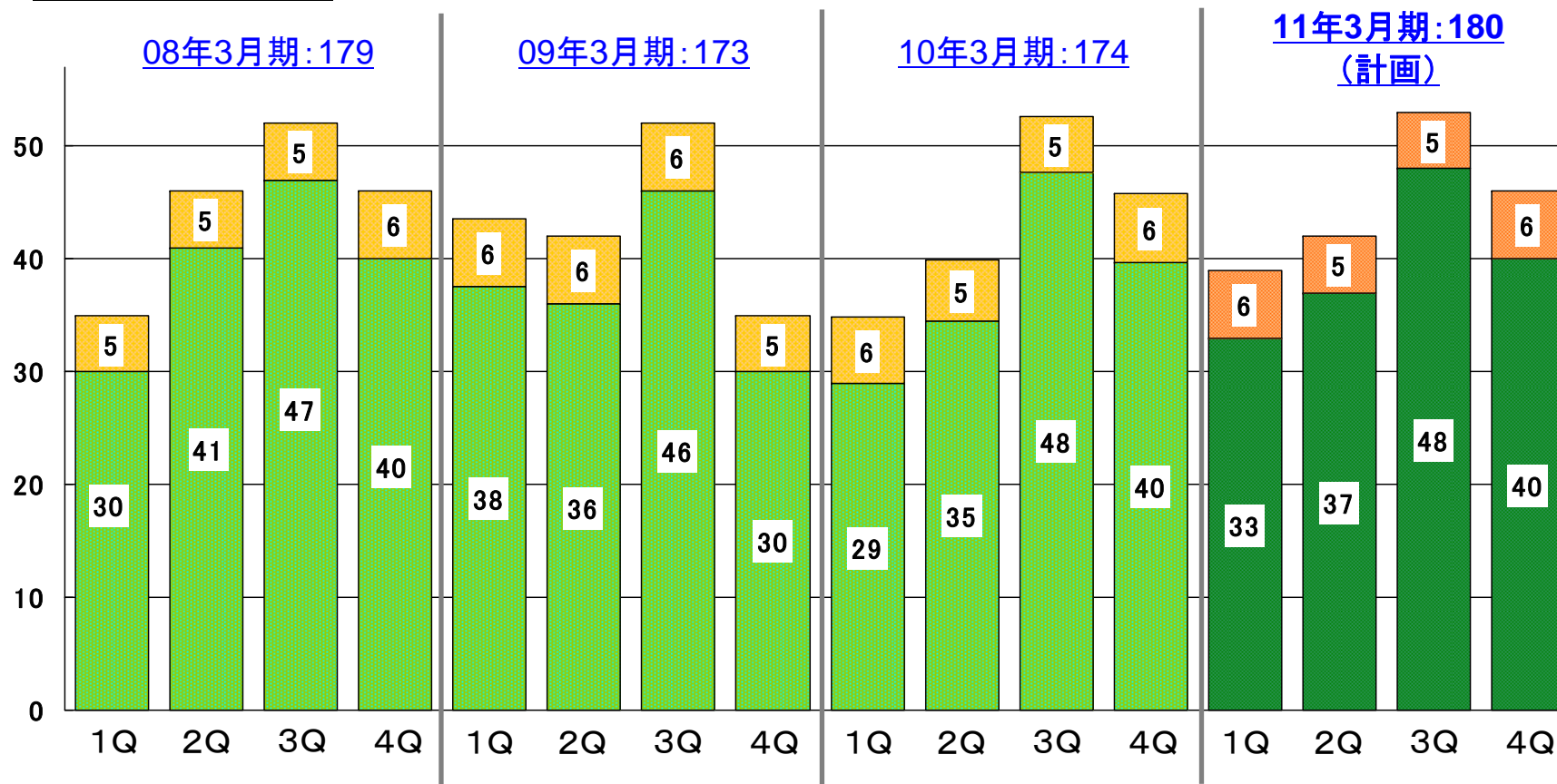
訪問販売の有用性を維持すると同時に、販売の多様化に対応した代理店経由、オーナー店経由での販売強化。

ミシン売上台数四半期推移



単位:万台

上段:国内 下段:海外



市場が完全回復した時の200万台の大台達成を視野に、
今期は180万台の販売を計画

ミシン新機種

キルト対応高級ミシン



キルト作品サンプル



実用コンピュータミシン



「ピンクリボン運動」への応援



産業機器事業

- 卓上ロボット・エレクトロプレス業界における、
当社グループの地位確立
 - ・中国、タイ、韓国等のアジア市場での販売拡大
 - ・ボリュームゾーンへの新機種投入による製品構成の充実

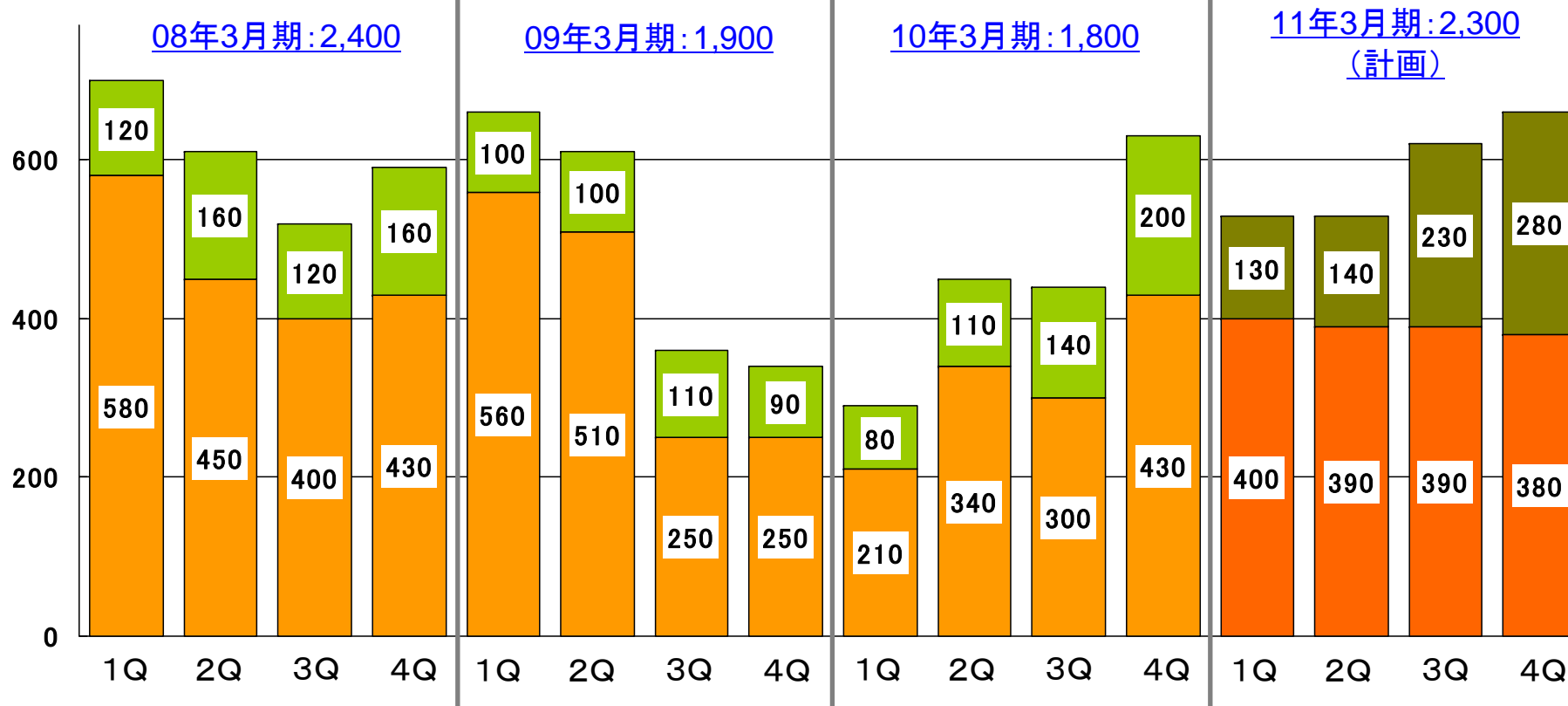
- ダイカスト鑄造事業は、リストラ効果等により2010年3月期の第4四半期以降、黒字に転換した収益構造を維持
 - ・強化し、更なる改善を図る

ロボット・エレクトロプレス 売上台数四半期推移



単位：台

上段：エレクトロプレス 下段：ロボット



2010年3月期第1四半期を底に需要は回復傾向
 好調なアジア市場(中国・タイ・韓国)における更なる販売拡大と
 新型プレス投入による国内販売の回復を目指す



蛇の目マシン工業株式会社